

東京都市大学 同窓会
校友会

2023年 10周年 記念事業

メインテーマ

つなぐ つながる

第2回 講演会

2023年5月20日(土) 14:30~16:00

定期総会終了後に開催

実施方式：ハイブリッド方式(対面とリモート併用)

会場：世田谷キャンパス(7号館 TCU ホール) 講演会への申込み



テーマ：星のかけらをを採りにゆく：はやぶさ2の求術とマネジメント

講師：津田 雄一 氏

小惑星探査機はやぶさ2は、人類未踏の小惑星リュウグウで、2度のサンプル採取や人工クレーター生成など、期待を大幅に超える数々の成果を挙げました。開発から成果創出までに10年間、600人が関わったプロジェクトは、未踏天体への科学的な挑戦の一方で、技術マネジメント上の挑戦でもありました。本講演では、はやぶさ2の宇宙飛行の軌跡とチーム作りについて紹介します。

津田 雄一先生のご経歴

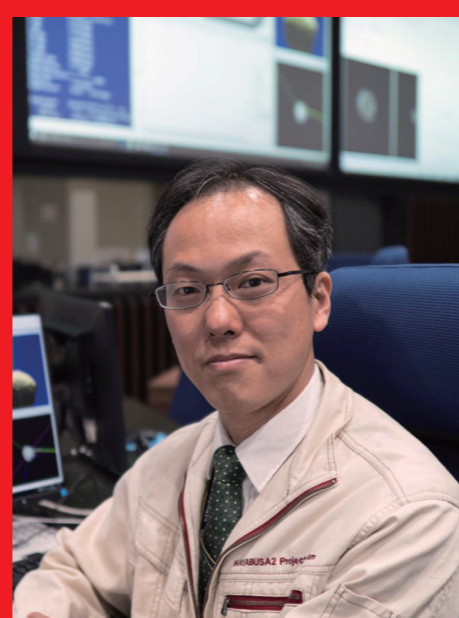
2003年 東京大学大学院修了 博士(工学)

2003年 JAXA 宇宙科学研究所助教

2008-2009年 ミシガン大学およびコロラド大学ボルダー校客員研究員

2015年 JAXA 宇宙科学研究所准教授 2020年同教授

近著に「はやぶさ2 最強ミッションの真実」(NHK 出版)「はやぶさ2の宇宙大航海記」(宝島社)「はやぶさ2のプロジェクトマジャーはなぜ「無駄」を大切にされたのか?」(朝日新聞出版)。



専門は、太陽系探査、宇宙工学、宇宙航行力学。いまや世界中で作られている「キューブサット」と呼ばれる10cmサイズの超小型衛星を世界で初めて開発。はやぶさなどを打ち上げた「M-V ロケット」の開発、小惑星探査機「はやぶさ」の運用などに従事。またソーラーセイル宇宙船「イカロス」のサブチームリーダーとして、世界初のソーラーセイル技術の実現へと導いた。小惑星探査機「はやぶさ2」の開発にあたってはプロジェクトエンジニアとして技術開発を指揮。2015年よりはやぶさ2のプロジェクトマネージャとして小惑星のサンプル採取と地球帰還を成功させた。

since

2013

Xth

Anniversary